

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・学力向上の手立てとして生徒が主体的に学ぶことを前提としたICT機器の利活用が課題である。生徒一人一人の習熟度に合わせた個人PCの利活用や持ち帰りの日常化から、効率的に理解を深める。
2 学校教育目標
ふるさとを愛し、自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成

3 本年度の重点目標
①9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み
②学力の向上と自己教育力の育成
③一人一人を大切に教育の推進
④豊かな心・健やかな体を育む教育の推進
⑤国際化・情報化に対応した教育の推進
⑥教師の資質向上と働き方改革

4 重点取組内容・成果指標
(1)共通評価項目
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Main evaluation table with columns: 重点取組, 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. Includes sub-sections for 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革, 特別支援教育, 志を高める教育, 小中一貫教育.

5 総合評価・次年度への展望
・個別最適で協働的な学びの実現を目指した授業実践を行った。生徒が主体的に学ぶためのICT機器の活用が課題として挙げられる。個人PCの活用や日々の持ち帰りから、効率的に理解を更に深めさせたい。